

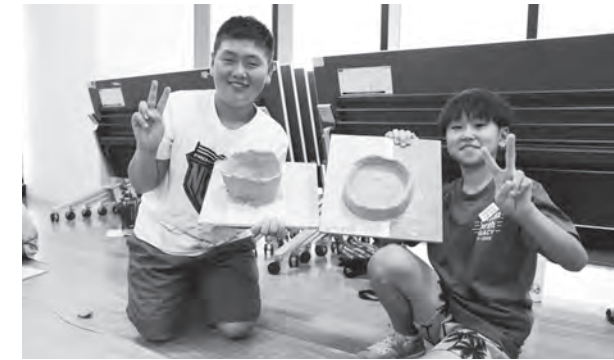
小中学生が大石田の土で陶芸を楽しむ

陶芸教室が7月23日(木)に町内の3小学校の6年生と中学2年生を対象に虹のプラザで行われ、陶芸体験をとおして、ふるさとを愛する心を育みました。

この陶芸教室では、講師としてブルーノ・ピーフルさん(川前)、高橋廣道さん(次年子)、井荻清隆さん(川前)、井荻敬一さん(川前)、地域おこし協力隊の神田光彦隊員にご協力いただき実施しているものです。

児童たちはコップや、お皿など自分らしさを活かした、作品を作っていました。

参加した石森崇葉さん(南小)は、「ご飯が好きなので、茶碗を作りました。ひび割れが起きないように厚さを均一になるように気を付けて作りました。出来上がりが楽しみです。」と話していました。



パラ出場の技術を伝える 齋藤元希選手による水泳指導

昨年のパリ・パラリンピックに出場した競泳男子の齋藤元希選手が、7月27日(月)に母校である大石田小学校で、町内3小学校の6年生を対象に水泳指導を行いました。

これは、齋藤選手が自身が育った町に何か恩返しをしたいという想いから実施されたものです。

当日は、齋藤選手が実際にお手本を見せ、水中での腕の使い方などを指導しました。

参加した東海林光さん(大石田小学校)は、「蹴伸びなどのコツを教えてもらい、遠くまで泳げるようになって、貴重な体験でした。」と話していました。



大石田の自然に目を向けて ゆずり葉の会による出前授業

大石田町「ゆずり葉の会」による出前授業が、7月9日(木)に大石田小学校で行われました。

以前から愛宕の森づくりを進めてきた方々が、より大石田町の自然を大切にしていきたいという想いから、大石田「ゆずり葉の会」を立ち上げました。

当日は、会長である矢作善一さんによるゆずり葉の会が活動してきた愛宕神社の環境維持活動※などについてや、大石田小学校の校庭にある松の木についてなどの授業が行われました。

また、オリジナルの木製のペンを作り、児童たちは、それぞれマーカーペンなどでオリジナルの作品を作っていました。

※この事業は、令和8年度山形県緑豊かな森林環境づくり推進事業を活用しています。



交通事故のない安全安心なまちへ

大石田町・尾花沢市安全安心大会が、7月21日(火)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。安全安心大会は、「明るいやまがた」夏の安全県民運動を推進するため大石田町と尾花沢市が輪番で開催しているものです。

この日は、大石田町民謡研究会によるオープニングセレモニーが行われたほか、ふたば保育園ぞう組の園児による決意表明や大石田町防犯協会八鍬雅彦会長の出発号令により各市町へパトロールが行われ、参加者たちは安全で安心なまちづくりの実現に向け決意を新たにしていました。



町内の活性化のためにプレミアム商品券を販売

町内の経済活性化のために、大石田町地域振興券発行委員会が毎年行われているプレミアム商品券の販売が、7月26日(日)に虹のプラザエントランスホールで行われました。

当日は、多くの方がプレミアム商品券を求め、列を作りました。

今回販売されたのは、加盟店で利用できる商品券で、2,500セットが販売されました。

使用期限は、12月31日までとなっています。

小学校統合に向けて

「学力向上支援事業を実施しています!!」

大石田町教育委員会では、令和7年度から小学生から高校生までの学びの機会を広げ、学力向上を目指すため、英語・数学・漢字の検定試験に対して助成を行っています。

大石田中学校を会場に団体受検を実施し、大中学生のほか、各小学校を通じて申し込んだ児童も一緒に受検しています。小学生の段階からそれぞれの目標を持って学習に取り組む意識づけをすることで、中学校進学後の確かな学力向上、学習体制の強化を図っています。

昨年度は小学2～6年生まで計29名の児童が受検にチャレンジしました。今年度も実施している事業ですので、大石田中学校からご案内がありましたら、家庭内でお話しをしていただき、ぜひチャレンジしてみたいかがでしょうか?

高校生も対象となる事業ですので、受検される方については町公式ホームページをご覧ください。

■教育文化課 学校教育グループ

☎35-2111(内線252)

